

令和7年二十歳のつどい実行委員 市長とどこでもミーティング

1月11日(土)、市長と若者の交流を図ることを目的として、令和7年二十歳のつどい実行委員をお迎えし、「市長とどこでもミーティング」を実施しました。ミーティングでは、潮来の良いところや今後の夢や目標などについて語り合っていました。今回は、その内容の一部をご紹介します。

【参加者】

令和7年二十歳のつどい実行委員

おぬま 小沼	とあ 音愛さん	ふじがさき 藤ヶ崎	かえで 楓さん
みやうち 宮内	つかさ 東颯さん	やまぐち 山口	そうた 宗大さん



左から、小沼さん、藤ヶ崎さん、原市長、山口さん、宮内さん

Q. 潮来の良いところはどんなところだと思いますか。

山口

嫁入り舟など素敵な伝統が残っているところや、潮来を題材にした演歌などの楽曲が多くあり、文化的なところが潮来の良いところだと感じています。



宮内

自然に恵まれているところが良いところだと思います。また、図書館などの環境が良く、学生に優しいところも魅力だと感じます。

藤ヶ崎

ご近所さんなどが温かく接してくれるのが潮来の良いところだと感じています。地元を出た今、身をもって感じています。

小沼

東京方面へのアクセスの良さが潮来の魅力の一つだと考えます。高速道路のICやバスターミナルがあり、家族で出かける際や帰省する際に助かっています。

Q. 潮来市を住みたいまちにするためにはどうすればよいと思いますか。

藤ヶ崎

少子化対策として、子育て支援を充実させていくことが、住みたいまちにしていくためにはとても重要だと思います。

宮内

市内を運行する路線バスが増えて移動しやすくなると、より住みやすいまちになるのではないかと考えます。

山口

潮来市に住みながら働ける職種が増えたらいいなと



思います。東京などの都市部に比べると働ける職種が限られてしまうので、色々な就職先を探せる機会が増えると良いと思います。

小沼

市内に空き家や閉店したお店が増えていると感じるので、商業施設などの誘致ができるとまち全体がより活性化するのではないかと考えます。

市長

皆さんの確かつ冷静な視点でのご意見をありがとうございます。

まず、子育て世帯への支援ですが、潮来市独自の取組みとして、妊婦の方への授乳服等の支給や、小学一年生へのランドセルの支給の他、学校給食の無償化等を行っています。限られた財源の中ではありますが、切れ目のないサポートを目指していきたいと考えています。

商業施設等の誘致については、東関東自動車道が水戸まで延伸されることに伴い、潮来IC周辺にはスポーツ関連施設等の誘致を、新たに設置される(仮称)麻生IC周辺には産業拠点の整備を進めています。市内への企業誘致が推進されれば、雇用の確保がなされ、人流や市内の公共交通も活性化していくのではないかと考えています。

全国的に人口は減少傾向にありますが、潮来市の活気を維持していくためには人が集まるまちにしなければなりませんので、皆さんの意見は正しく、私が推進していこうと思っていることを言っていただけで大変ありがたいと思います。



Q. 今後の夢や目標などを教えてください。



藤ヶ崎

私は大学で幼児保育について学んでおり、将来は児童養護施設などで働き、何らかの事情で親と一緒に暮らせない子どもたちと生活していくような仕事に就きたいと考えています。子どもたちの教育だけでなく、生活面でのサポートもできるような大人になりたいと考えています。

小沼

私は進学を機に茨城県を離れ、改めて茨城県の良さを感じたので、具体的な方向性は決まっていますが、将来は茨城県内で就職し、地元の発展に貢献したいと考えています。

山口

私は大学で電磁気や電気回路などについて学んでいるので、将来は半導体の製作に関わる仕事に就き、日本の半導体産業の発展に貢献できるようになりたいと考えています。

宮内

私は大学で教育課程を履修しているので、将来は地元で教育関係の仕事に就きたいと考えています。

市長

皆さん将来の目標があり本当に素晴らしいと思います。これからも勉強などに励み、将来の夢を実現し、活躍する社会人になってください。年を重ねるごとに、時間が経つのがあっという間に感じられると思いますので、ぜひこれからも目標を持ち、充実した日々を送ってください。